本当に困ったマイマイガ
地域全体で駆除を・・・

「毒々しい毛虫がいっぱいいる」「殺虫剤がまったく効かない」「庭木の葉がボロボロになってしまった」「何とかならないですか」こんな話が毎日交わされています。この毛虫はマイマイガの幼虫ですが、マイマイガ（舞舞蛾）とは何かを少し調べてみました。

マイマイガは約10年周期で大発生を繰り返し、2～3年は継続すると言われています。大発生の終息は幼虫期にウイルスの伝染病により自然に収まるとされていますが、その仕組みは解明されていません。

幼虫は4月中旬頃から発生

幼虫は糸を吐いて下垂し風に吹かれて分散、この様子からブランコケムシの俗名もあります。典型的な毛虫で背面に目立つ二列の点が並んでおり、気持ちの悪い毛虫です。

1卵塊で200～300匹が発生し、圧倒的な数の力と猛烈な食欲で広葉樹・針葉樹・草木の葉などを食い尽くす公食性で、どんな植物にも住み付きますが山椒の木には見かけないので、癖のあるものは好まないかも知れません。

昼は葉の裏や樹の根元付近、樹皮の裂け目などに潜み、夕刻樹に上るという夜行性でもあります。

ドクガ科に分類されますが、アレルギーの人以外は害を被ることはないとされています。

しかし5㎜ほどの1齢幼虫はわずかに毒針毛があり、触れるとかぶれます。

卵、2齢以降の幼虫、繭、成虫には毒はありません。

成熟すると6センチにも

幼虫は2か月ぐらいで成熟し、なんと6センチにもなり不気味です。

葉などを糸で引き寄せ繭を作り蛹化し、10数日で羽化し成虫になります。成虫の寿命は7～10日ですが、7～8月にかけて次々と飛来するので、長く感じます。

オス成虫は2～4センチで褐色をしており、活動的で日中でも活発に飛び回ります。

マイマイガはこのオスの飛び方に由来しています。メス成虫は4～7センチで白っぽく、産卵期になるとあまり飛びません。

夏の暑い夜、夜間照明に群がってきますが捕獲は難しいようです。昨年町の夏祭り「あっぱれ」の照明にたくさん飛来し、びっくりしました。

メスは茶色の鱗毛で覆った卵塊を産卵して死にます。この掃除だけでも大変です。卵は4月まで越冬します。

①若齢幼虫期（体長1センチ程度まで）は、殺虫剤で駆除できます。

②1センチ以上の幼虫は、普通の殺虫剤は効きません。（JAで販売しているトレボンなど強い農薬は効く）割りばし等で根気よく捕獲。

③成虫の夜間飛来防止のため消灯は効果的ですが、移動するだけで駆除になりません。

④卵塊を削ぎ落とし駆除する。これが最も効果的です。

地域全体で駆除を

皆さんは毎日マイマイガの幼虫を、つまみ取って駆除していますが、せいぜい庭木の手の届く範囲に限られています。高い樹はもとより東山の樹木が大変だと聞いています。岐阜高山地方の山が丸坊主になったとの報道もありました。

長野県は「駆除マニュアル」を持っていませんが、隣の安曇野市は独自の「マイマイガ対策について」のホームページを作っています。

池田町は、薬剤散布に要した費用の2分の1（個人においては上限1万円、役場振興課に申請）助成する方針を立てましたが、直ちに通年の「対策マニュアル」を作り、地域全体で徹底した駆除をしなければならないと思います。

牛越 邦夫

原水爆禁止 平和大行進

あなたも一緒に歩きませんか

7月2日（水）

9:00 大町市役所（出発集会）
13:35 松川鈴の音ホール
14:40 池田町役場
15:45 ハーブセンター
16:55 安曇追分駅（引継ぎ集会）

広島までつなぐ平和の行進です

議会傍聴記

6月議会一般質問が16、17日に行われ傍聴しました。服部議員は介護保険制度など4点、薄井議員は社会資本総合計画など4点について質問しました。

「国や県の動向を見て」「北アルプス広域の論議を待って」などの回答が多く、町が町民要求に即して考えていないのではないかと思いました。

（傍聴者）

服部議員は社協職員の健康管理を受け持っている産業医から社協の会長である町長へだされた文書について質問しました。文書は「特定の人物の言動により職員が心身の健康を損ねているので職場改善が必要。職員が安心して相談できる外部の第3者による相談体制を構築するように」という内容だそうです。

服部議員は「この間社協では退職者が相次ぎ、早急な対応が求められている。」と質問しました。

町長は「社協の問題は一般質問で答える必要がない。産業医のやりかたについては問題があると考え、抗議している」として、回答を拒否しました。

社協は町が補助金を出し、町民からも寄付を集めて運営している組織なので、町が責任を持って実態把握をしていく必要があると思いました。

薄井議員は、池田町にとって最も大きな事業である地域交流センターや図書館等の建設の進め方について質問しました。

H27年3月に基本計画、その後の建設計画の中では検討する委員会をつくり町民の要望も聞き、H28年には着工するとのことでした。

私たち自身が利用するものであり、商業施設も含め便利さにとらわれず名実ともに交流の場となり得る利用しやすい施設を望みたいものです。意見を聞いてもらえる環境があればと思います。

聞いて！聞いて！

読者のひろば

読者の皆さんからの投稿欄です。

「永遠の0（ゼロ）」を読んで

文庫本歴代売上1位、書店入り口にはたくさん平積みされており、宣伝に踊らされ読んでみた。

作者は言わずとしれた百田尚樹氏。

確かに物語としては非常に面白い。ストーリーの展開、ゼロ戦の戦闘シーンなどつい引き込まれて読んでしまう。

特攻隊員を送り出す立場にいながら「死にたくない」と口にして「海軍一の臆病者」とまでののしられながら、妻との約束のため生きようとした者がいた。その彼がなぜ自ら死を選択したのか、更に最後主人公の祖父に関するどんでん返しなど、多くの読者を得たこともうなずける。

しかし、そこはやはり「南京大虐殺は捏造」「他国が攻めてきたら、9条教の信者を前線に送り出す」とまでうそぶく作者のこと、本人も「特攻隊員を賛美しすぎたかな」というほど。

また、失敗した軍事作戦は上層部が身の保全を優先したためとか、日本軍は兵（人間）より飛行機など物を大切にした等々、やり方によっては勝利できたといわんばかりで、あの戦争の侵略性を問う視点などみじんもなく、戦争に対するまともな総括がされていない。

同題の映画も見たが、原作の問題に感じられるような部分は描かれていなくてほっとしたことを付け加えます。

3丁目 山本伸一

私の健康法

そろそろ高齢期となり、健康管理をしなければと思うのですが、これといって何も出来ずにいます。

唯一、1年ほど前から続いているのが玄米食です。玄米だけで炊くと少々ぼそぼそした食感がありますが、黒米（もち米）や小豆などを入れるともっちりと甘みもあって美味しいです。

白米を炊くときにも黒米や雑穀を入れます。赤飯のような感じで気に入っています。

おかげで便秘とは無縁になりました。白いご飯の時は友人に教えられて、味噌汁に糸寒天を入れることにしています。

お米は無農薬の自家米、我が家の大腸がん対策として続けたいと思っています。

渋田見 太田 幸代